

# cMT-iPC15 / cMT-iPC10

## ユーザーマニュアル



## 目次

1. 概要 .....	1
2. ハードウェア仕様 .....	1
3. 外形寸法図 .....	3
4. LED インジケータ .....	5
5. リチウム電池 .....	5
6. BIOS に入る方法.....	5
7. Windows OS をインストールする方法.....	5
8. 起動/シャットダウンの手順.....	6
9. ドライバ .....	7
10. タッチ精度補正 .....	7

### ウォーニング:

本製品は、クラス A 情報技術装置であり、住居環境に使用する場合、電波干渉を起こす恐れがあります。こういう状況下、適切な処置を要求されます。

本ドキュメントに記載されている各社名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

本ドキュメントの記載内容は、予告なく変更する場合があります。

Copyright© 2019 Weintek Lab., Inc. All rights reserved.

## 1. 概要

cMT-iPC15 / cMT-iPC10 は Windows® OS をベースにし、cMT Viewer ソフトウェアで cMT HMI に接続し、HMI として使用されることが出来る以外、サードパーティ製ソフトウェアを実行することも可能です。Weintek の研究開発チームが開発した cMT Launcher を利用すれば、cMT-iPC15 / cMT-iPC10 のデスクトップをスマートフォンの UI のようにデザインすることができます。各ページで自分関連のあるアプリを置くことができる以外、操作権限があるユーザーだけが関連のページが呼び出せるようにセキュリティレベルを設定することもできます。

## 2. ハードウェア仕様

### cMT-iPC15

表示	ディスプレイ	15" TFT
	解像度	1024 x 768
	明るさ(cd/m <sup>2</sup> )	400
	コントラスト	700:1
	バックライトタイプ	LED
	バックライト寿命	50,000 時間以上
	表示色	16.2M
タッチパネル	LCD 視野角(T/B/L/R)	70/70/80/80
	タイプ	4 線式抵抗膜方式
メモリ	タッチ精度	長さ(X)±2%, 幅(Y)±2%
	SSD	64 GB
プロセッサ	RAM	4 GB
		Intel Atom® E3827 processor
I/O ポート	SD カード	SD/SDHC/SDXC
	USB Host	USB 2.0 x 2 / USB 3.0 x 1
	Ethernet	10/100/1000 Base-T x 2
	音声出力	モノラルスピーカー内蔵 Audio Line Out – 3.5 mm jack x 1
	RTC	内蔵
電源	入力電圧	24±20%VDC
	電源部絶縁	内蔵
	消費電流	2A@24VDC
	耐電圧	500VAC (1 分間)
	絶縁抵抗	50MΩ以上@500VDC
	耐振動	10 to 25Hz (X、Y、Z 軸向け 2G 30 分間)
仕様	PCB コーティング	有り
	筐体材質	アルミ合金
	外形寸法 WxHxD	366 x 293 x 54.2 mm
	パネルカット寸法	352 x 279 mm
	重量	約 2.76 kg
	取付	パネル取付、VESA ブラケット 75 x 75 mm
使用環境	保護等級	UL Type 4X (indoor use only) / NEMA4 / IP65 Compliant Front Panel
	保存温度	-20° ~ 70°C (-4° ~ 158°F)
	使用温度	0° ~ 50°C (32° ~ 122°F)
	使用湿度	10% ~ 90% (結露無き事)
認証	CE	CE marked
	UL	cULus Listed
OS		* Windows® 7 / Windows® 8.1 / Windows® 10 IoT Enterprise (EasyLauncher + cMT Viewer)

\*Windows OS のライセンスを別途購入する必要があります。

\*Windows®は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\*Intel Atom®は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

### cMT-iPC10

表示	ディスプレイ	9.7" TFT
	解像度	1024 x 768
	明るさ(cd/m <sup>2</sup> )	350
	コントラスト	500:1
	バックライトタイプ	LED
	バックライト寿命	30,000 時間以上
	表示色	262K
	LCD 視野角(T/B/L/R)	60/70/70/70
タッチパネル	タイプ	4 線式抵抗膜方式
	タッチ精度	長さ(X)±2%, 幅(Y)±2%
メモリ	SSD	64 GB
	RAM	4 GB
プロセッサ		Intel Atom® E3827 processor
I/O ポート	SD カード	SD/SDHC/SDXC
	USB Host	USB 2.0 x 2 / USB 3.0 x 1
	Ethernet	10/100/1000 Base-T x 2
	音声出力	モノラルスピーカー内蔵 Audio Line Out – 3.5 mm jack x 1
RTC		内蔵
電源	入力電圧	24±20%VDC
	電源部絶縁	内蔵
	消費電流	1.5A@24VDC
	耐電圧	500VAC (1 分間)
	絶縁抵抗	50MΩ以上@500VDC
	耐振動	10 to 25Hz (X、Y、Z 軸向け 2G 30 分間)
仕様	PCB コーティング	有り
	筐体材質	プラスチック
	外形寸法 WxHxD	260.6 x 203.1 x 44.5 mm
	パネルカット寸法	250 x 192 mm
	重量	約 1.1 kg
	取付	パネル取付、VESA ブラケット 75 x 75 mm
使用環境	保護等級	UL Type 4X (indoor use only) / NEMA4 / IP65 Compliant Front Panel
	保存温度	-20° ~ 60°C (-4° ~ 140°F)
	使用温度	0° ~ 50°C (32° ~ 122°F)
	使用湿度	10% ~ 90% (結露無き事)
認証	CE	CE marked
	UL	cULus Listed
OS		* Windows® 7 / Windows® 8.1 / Windows® 10 IoT Enterprise (EasyLauncher + cMT Viewer)

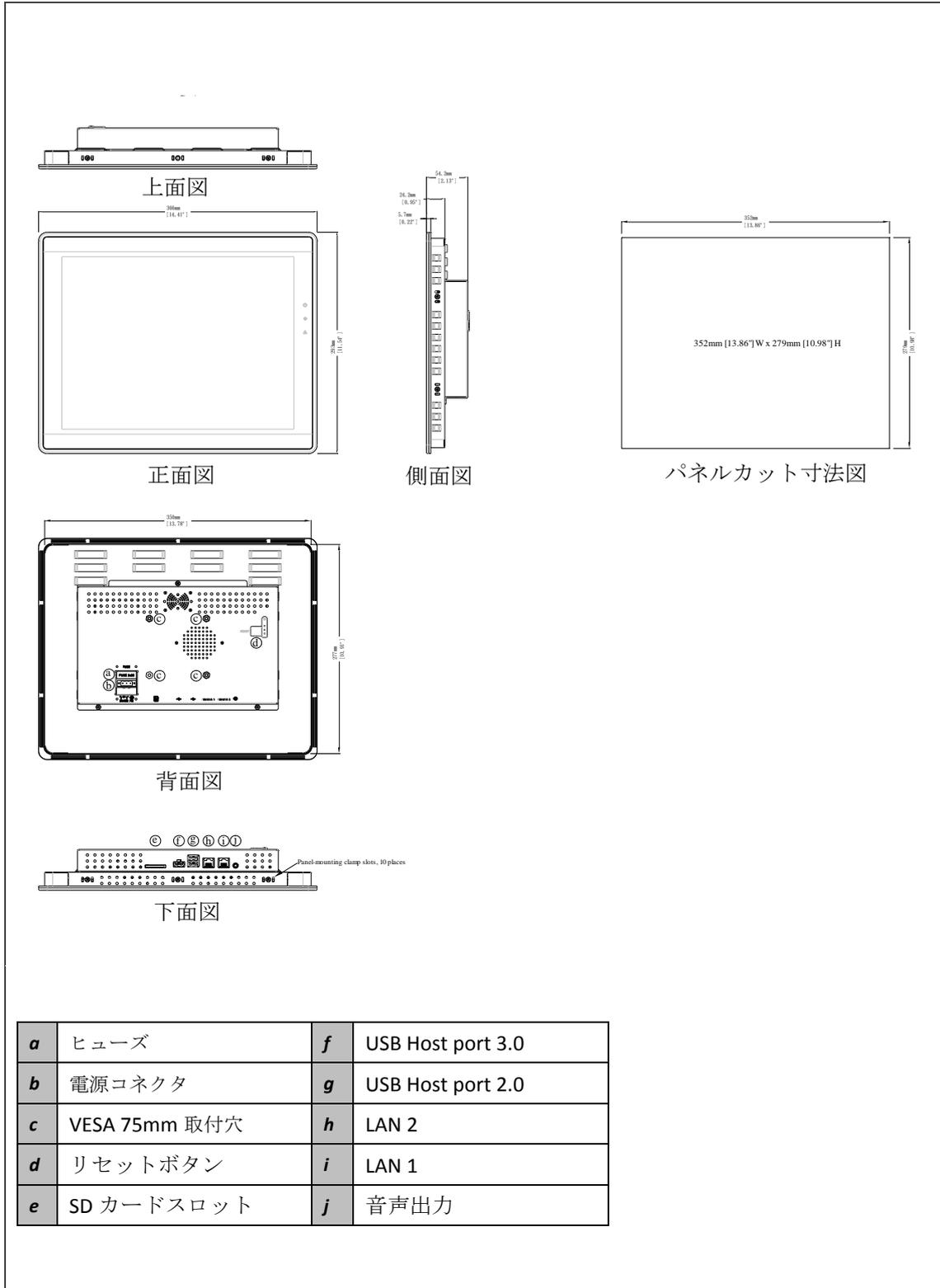
\*Windows OS のライセンスを別途購入する必要があります。

\*Windows®は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\*Intel Atom®は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

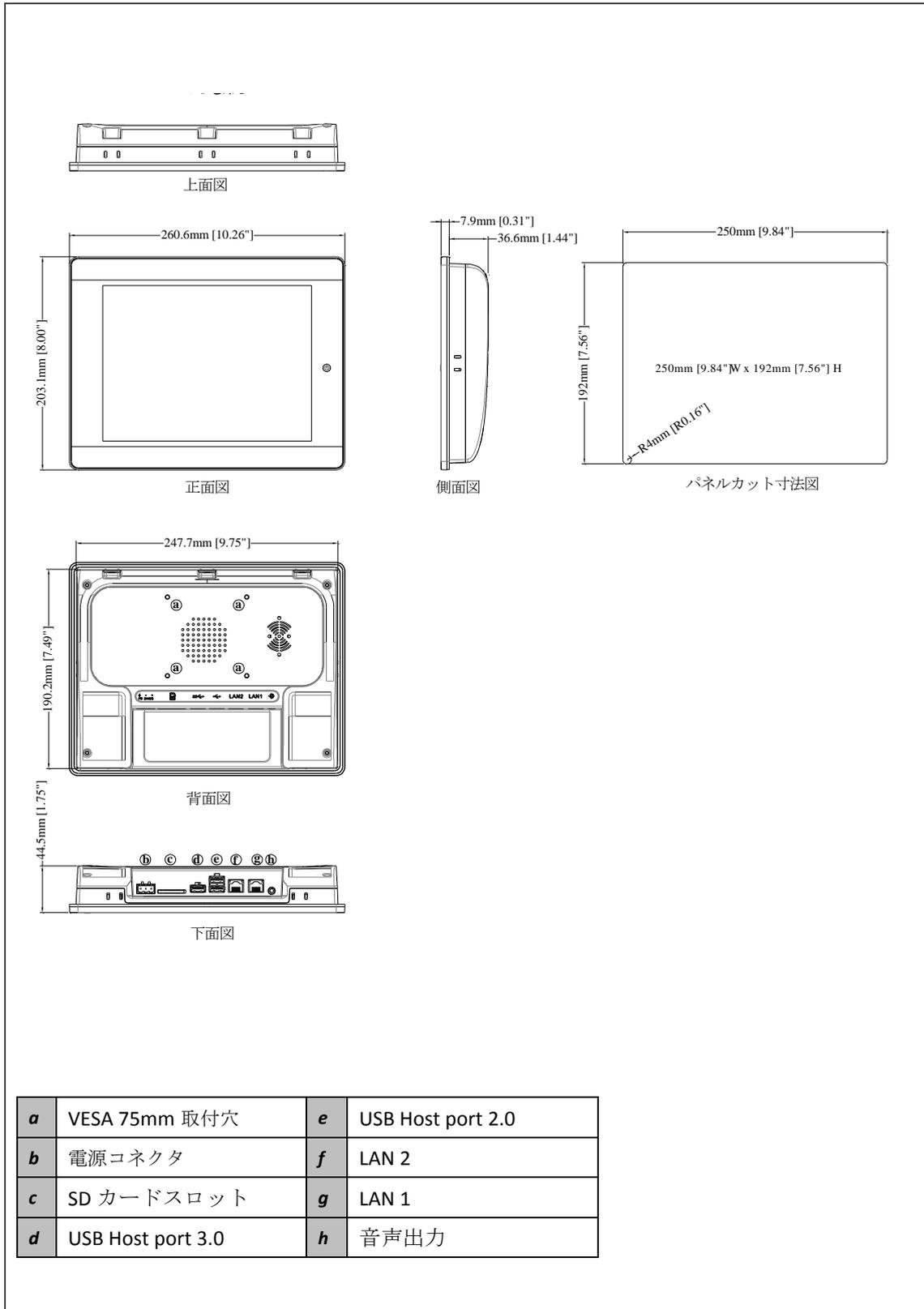
### 3. 外形寸法図

#### cMT-iPC15



<b>a</b>	ヒューズ	<b>f</b>	USB Host port 3.0
<b>b</b>	電源コネクタ	<b>g</b>	USB Host port 2.0
<b>c</b>	VESA 75mm 取付穴	<b>h</b>	LAN 2
<b>d</b>	リセットボタン	<b>i</b>	LAN 1
<b>e</b>	SD カードスロット	<b>j</b>	音声出力

cMT-iPC10



## 4. LED インジケーター

### cMT-iPC15

電源インジケーター(オレンジ): 電源の状態を示します。

ハードディスクインジケーター(緑): SSD の書き込み状態を示します。

通信インジケーター(青): イーサネットの通信状態を示します。

### cMT-iPC10

電源インジケーター(オレンジ): 電源の状態を示します。

## 5. リチウム電池

cMT-iPC15 / cMT-iPC10 には RTC を内蔵しており、CR-2032 リチウム電池で運転を維持します。

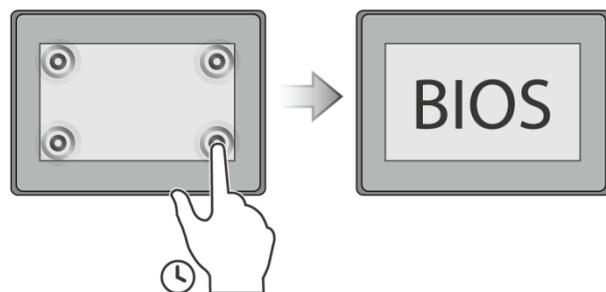
このリチウム電池が切れて、電池を交換した後、BIOS に入って改めて RTC を設定する必要があります。

**警告:** ボタン型電池が切れたら、CR-2032 リチウム電池を交換してください。交換した電池のタイプが間違ったら、正常に時刻を表示できなくなるかもしれません。

## 6. BIOS に入る方法

下記 2 つの方法で BIOS に入ることができます:

- USB キーボードを接続し、起動時 F2 キーを長く押します。
- 起動時、モニターの隅に長く押します。(四隅のいずれを押してもいいです)。



## 7. Windows OS をインストールする方法

1. USB CD-ROM ドライブを接続し、それに Windows インストールディスクを CD-ROM ドライブに入れます。  
(または Windows の ISO イメージを USB メモリに焼き、そして HMI に挿入)

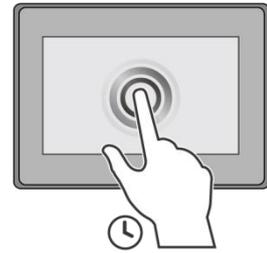
します)

2. 起動時、モニターの中心を長く押してから、装置を選択します。

(または USB キーボードを接続し、起動時に F5 キーを押します。)

**注意:**

cMT-iPC15 / cMT-iPC10 にはリカバリーディスクが提供されていないため、Windows OS をインストール完了後、システムバックアップを行うことを強くお勧めします。



## 8. 起動/シャットダウンの手順

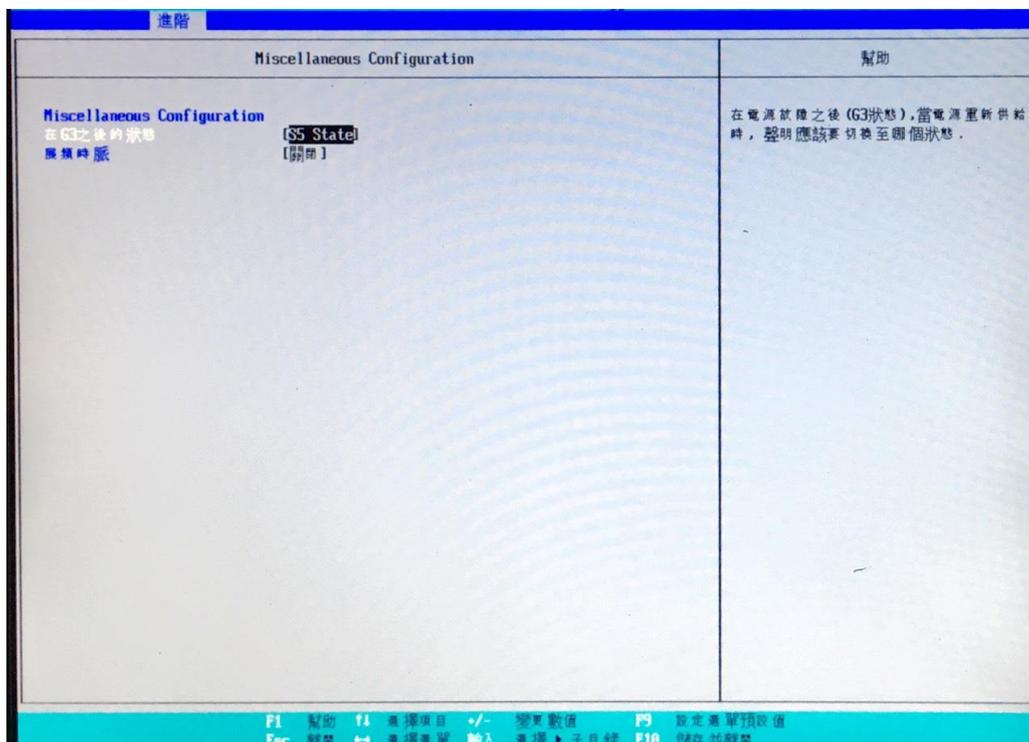
### 起動の手順

BIOS で自動的に起動、または起動後、電源ボタンを押してから起動するのを選択します。

BIOS \ Advanced \ South Cluster Configuration \ Miscellaneous Configuration \ State After G3:

S0 State: 電源を入れた後、自動的に起動します。

S5 State: 電源を入れた後、電源ボタンを押してから起動します。



### シャットダウンの手順

シャットダウンしたい場合、Windows でシャットダウンを選択するか、電源ボ

タンを押してシャットダウンします。

**注意:** 電源ボタンを押す時に採る動作は、Windows コントロール \ システムとセキュリティ \ 電源オプション \ 電源ボタンの動作の変更で設定されることができます。ことができます。

 **直接にコンセントを抜いたら、予期しないシャットダウンとなり、データの紛失に至ります。**

## 9. ドライバ

Windows OS のインストールが完了後、順次にソフト/ハードウェアのドライバをインストールします。下記のリンクでダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロードリンク:

cMT-iPC15:

[http://www.weintek.com/Download/cMT/cMT\\_iPC15/driver/cMT\\_iPC15\\_driver.htm](http://www.weintek.com/Download/cMT/cMT_iPC15/driver/cMT_iPC15_driver.htm)

cMT-iPC10:

[http://www.weintek.com/Download/cMT/cMT\\_iPC10/driver/cMT\\_iPC10\\_driver.htm](http://www.weintek.com/Download/cMT/cMT_iPC10/driver/cMT_iPC10_driver.htm)

## 10. タッチ精度補正

タッチ位置がずれるなら、HIDeGalaxTouch Tool を通じてタッチ精度補正を実行します。

[Advanced] \ [Linearization]では、もっと精度が高い9ポイント補正、或いは25ポイント補正を実行することができます。

